

スポーツ栄養演習Ⅰ

科目ナンバリング SPS-113
選択 2単位

大村 香織

1. 授業の概要(ねらい)

基本的な各栄養素の役割を正しく理解し、競技特性やトレーニングに応じて、何を、いつ、どれくらい摂取する必要があるかを学びます。

授業の進め方は、資料やパワーポイントを中心とした講義形式で授業を行った後に、グループワークやディスカッション等を実施します。自身のコンディションや食生活を振り返り、実践へとつなげ、スポーツ栄養の重要性を理解していくことを目指します。

2. 授業の到達目標

- ①基本的な各栄養素の役割を説明できる。
- ②トレーニングや競技に応じた適切な栄養摂取について説明できる。
- ③授業で習得した知識を、日々の食生活やスポーツ現場で実践できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①授業内テスト・課題 30%
 - ②期末試験 70%
- ※出席点はありませんが、出席不足は評価対象外となります。

4. 教科書・参考文献

参考文献

日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第9巻『スポーツと栄養』

小林修平編著 アスリートの栄養・食事ガイド(3版) 第一出版

樋口満編著
新版コンディショニングのスポーツ栄養学 市村出版

5. 準備学修の内容

日頃から自分自身の身体作りや食事・栄養について興味・関心を持って過ごすよう心掛けて下さい。参考資料や配布資料をよく読み、課題やレポート、授業内発表の準備を十分にしてください。

6. その他履修上の注意事項

グループワーク、ディスカッション等主体的に取り組んでください。私語など授業の妨げとなるような行為、スマートフォン、イヤフォンの着用は禁止します。場合によっては退出してもらいます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション(授業の進め方、評価方法など) |
| 【第2回】 | スポーツ選手の食事の基本
各栄養素の働き、バランスの良い食事について |
| 【第3回】 | トレーニングとエネルギー消費量
1日のエネルギー消費量の推定方法について
自身の練習やトレーニング消費量を推定する |
| 【第4回】 | スポーツ選手の身体組成①
身体組成を測定する意義について |
| 【第5回】 | スポーツ選手の身体組成②
自身の身体組成から、身体づくりについて考える |
| 【第6回】 | 糖質摂取の必要性
アスリートに必要な糖質摂取量、グリコーゲンとたんぱく質との関係を知る。 |
| 【第7回】 | 身体作りとたんぱく質摂取
たんぱく質の体内における代謝と機能、選手における必要量を理解する。 |
| 【第8回】 | サプリメントの正しい使い方
サプリメント摂取の必要性について考え、ドーピング問題について知る。 |
| 【第9回】 | 水分補給法①
水分補給による体温調節、脱水とパフォーマンスとの関連などを学び、正しい水分補給法を知る。 |
| 【第10回】 | 水分補給法②
練習前後の体重変化や、尿の色を記録し、自身の水分補給量について考える。 |
| 【第11回】 | 食事記録法
食事記録の方法について学ぶ。 |
| 【第12回】 | スポーツ選手の栄養計画①
食事記録から、自身の栄養摂取量と課題を考える。 |
| 【第13回】 | スポーツ選手の栄養計画②
食事記録の結果から、効果的な栄養補給法について考える。 |
| 【第14回】 | まとめ |
| 【第15回】 | まとめと試験 |